ತ<ಡ0 Baytown News

第 44 号(2001 年 1 月 1 日発行) まくはりベイタウンニュース 編集局



西村 金之助さん(18番街在住)「昭和4年生まれで、2月7日に72歳になります。リタイアして家内と二人、東京都港区からベイタウンに越してきました。清潔な街並みに一目惚れです。現在は、シニアクラブに参加したり、11番街で太極拳をやっています。"年男"だからといって特別なことは考えていませんが、健康に注意して元気に暮らしたいと思っています。」また、「21世紀のキーワードは?」と西村さんにお聞き



小熊君、佐藤君、谷本君(小5)「最近のベイタウンは、新しい番街がどんどん建ってお店もふえてきて楽しいです。また、建物がふえると、引っ越してくる人が多く友達もふえるのでとても嬉しいです。」松下さん、山崎さん(小5)「ベイタウンに住み始めて3年です。撮影会に、たくさんの人が来てくれないと目立ってしまって恥ずかしいです。せっかくベイタウンに住んでいるのだから、来年は午年の人、たくさん来てください。」



新春ほろ酔い座談会

5周年事業である「ベイタウンフォーラム」、ベイタウン祭りの音楽イベント・花火大会、コミュニティコアのピアノのためのチャリティコンサート、多摩市長池地区の市民グループとの交流など、昨年も様々なまちづくりの活動が繰り広げられました。ベイタウンニュースも創刊号発行からも3年半を迎え、ベイタウンネットも新しいメディアとして住民生活に欠かせないものとなっています。

今回の座談会は、各方面からまちづくりに関わってきた4人の方にお集まりいただき、まちづくりについて、ベイタウンについて感じていること、自分たちがまちの活動に関わる理由(わけ)など、新春にふさわしくワインを傾けながらほろ酔い気分で「まじめに」「熱く」語っていただきました。(12/9収録、進行役:金、構成:佐藤、取材協力:ローズベイハーツ)

まず、自己紹介を兼ねて皆さんがまちづくりの活動にかかわるようになった理由を聞かせてください。

★印は 2000 年のトピックスです。

佐藤 17番街の佐藤総一です。最初、まち全体で取り組める もの、みんなが参加できるイベントとしてベイタウン祭りを やりました。コミュニティ活動に参加できる"きっかけ"づ くりですね。

2000年は樺田さんが実行委員長をやったわけだけど、新し

★とにかく何でも首を突っ込んで関わってみた。でも関わることでたくさんの人とのつながりができた。

い人たちがどんどん出てきてあ あしようこうしようとやって いったほうがいいものになると 思う。

組織で活動中」樺田に関われる自治会のような「義務や強制でない、自発的

ないでは、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 。

クとして、また連合会活動と自分の住む 17 番街の自治会活動は街の動きを知るために、ずっと続けていきたいと思っている。

樺田 公園東の街の樺田直樹です。以前住んでいた兵庫県では自治会活動が熱心で、自分の住んでいたマンションの 15 世帯だけがよそ者という状況だった。まわりからは「あそこの連中は何もしない」と言われていました。

それがイヤでどんどんいろんなことに参加したら、まわり の見る目が変わって、向こうからも声をかけてくれるように なり、参加することが負担にならなくなったんです。性格も あるのかもしれないけれど、人に頼まれたからでなく、自分から関わっていくほうがおもしろいと思う。

ここに住む人には2種類あって、静かに暮らしたい人とお互い仲良く楽しく暮らしたい人がいると思う。東の街は、きっかけがあれば、楽しく暮らしたいという人が多い気がします。今

年のクリスマスのイルミネーションも、二人の女性が呼びかけて、飾り付け作業と費用の賛

同者を募った ら、予想をはる かに超える150 戸以上の協力が 得られたという 話もありまし た。

東の街でいろ いろやっている ように思われて いますが、僕は



★休日、人が歩く街になってきた。散歩したり、お店に入ったり…街がまわり始めた感じ。

呼びかけるだけで、実際には他のみなさんが自発的に動いて くださっています。

れる機会が生

荒巻 セントラルパークの荒巻順です。セントラルパークでは自治会についての話し合いをこれから始めようかという段階。街の構造が原因なのか、あまり人がクロスしない。キッチンハウスやアトリエハウスも使い方の事例がなく活用されているとは言えません。樺田さんのように呼びかける人がいないし。

僕自身のことを言うと、一旦始めると止まらないタイプなので、今は社長業をしている「仕事」を優先して、街での活動はセーブしている。ベイタウンネットの活動は、関わりやすかったのとウマの合う人がいたので楽しんでやっています。

結局、コミュニティ活動も「おもしろいか」「おもしろくないか」、ウマの合う人がいるかどうかだと思うんです。仕事ではしかたがなくても、街にいるときまで無理して付き合うのはイヤだもん。

樺田 僕もそう。自分が楽しみたいからやる、それに賛同してもらえるかどうかだと思います。東の街も「自治会」を立ち上げたつもりはなくて、自治会のような組織「自治・快適・組織」として、「できる時に、できる範囲で」をモットーに義務や強制のない自発的な活動を考えています。それがたまたま自治会の役割を果たすことはあると思います。

しかし、どうしても「楽しさ」だけではやっていけない 義務的なものは出てきますよね。

樺田 たとえば、道路の清掃も、「自分たちの街のことは、自分たちでやろうよ」という雰囲気にしたい。やっている人の姿を見て、自発的に自分もやろうという気持ちになれるような。それでもやる人がいなければしかたがない、東の街でのイベントもやろうという人がいなければ、義務でやる必要はないと思ってます。

村岡 公園東の街の村岡英裕です。私はここで引っ越しは 22 回目。海外生活がわりと長くて 94 年に日本 (大阪) に帰ってきました。埋め立て地のなかにできた街で、街の要素を一から考えようとしたところがおもしろいと思いました。香港

生まれの妻は、海と高層建築のある風景が香港に似ていて、 まず彼女がベイタウンを気に入ったんです。

今年はフォーラムの事務局をしましたが、私自身は人を動 かすというよりも横から口をはさむタイプだと思っています。 同じ東の街の樺田さんは、呼びかけもするし、シメもちゃん とする人です。

ベイタウンのコ ミュニティ活動についての感想は?

荒巻 僕は深川生まれ育ちの江戸っ子で、コミュニティ活動 は DNA に刷り込まれている人間なんです。カッコイイ! (笑) すごくあたりまえに近所づきあいや世話役、祭りといっ たものが身近にあった。だから、なぜ、こんなに議論しなく ちゃいけないの?というのが正直な感想です。

佐藤 そもそも活動が議論から始まった街なんですよ。

荒巻 議論のテンションが高くて、それをまとめる村長(む らおさ)がいないという感じ。歴史がないから、培われてき た役割分担がわからなくて僕は不安な気がする。

樺田 会社では年齢的な上下関係がありますが、ベイタウンで は世代差を感じない。年齢的には若いほうだと思いますが、年 配の方ともフラットな関係で話ができるのがいいと思います。

佐藤 村長(むらおさ)が必要かどうかは別として、村長が いることで自分の位置づけがわかるという面はありますね。 仕事でも、自分は数字を考えてさえいれば、あとは上がやっ てくれるから気楽なところはある。

ベイタウンは同世代の人が多いから、上に立つ人が出てき にくいというのはあります。

5年目という節目にフォーラムをやったんだけど、村岡さ んは白紙の状態でまちを見られる人材で適任だと思った。

村岡 私自身、ベイタウンの5年をまとめて考えたかった。 実際、街にはいろんなこれまでの活動があって結果的に4つ の分科会を持てました。ただ、この方法だとそれほど多くの

★マリーンデッキができたこと。 高低差ができて、ベイタウンや新 都心が新しい角度で眺められるよ うになった。

人が集まるわけではない。 フォーラムのかたちにこだわる と広がりがのぞめないという反 省点もあります。もし次回する

> としたら、既存 の活動、たとえ ばエコパーク、 カミネッコンな ど様々な活動を まとめて、連絡 協議会のような ものも考えた

それから フォーラムに関

わって、街のなかにいろんなベクトルがあることがわかりま した。"企業庁へのベクトル""住民同士の活動のベクトル" "ベイタウンを外に宣伝していくベクトル"など。

っと我々がやりたい

ったほうがい

L

ただし、我々のエネルギーを企業庁へのベクトルに費やし すぎているような気もします。もっと我々がやりたいこと、 企業庁以外のベクトルに力を使ってもいいんじゃないかと。

これからのまちづくりを考えるヒントはありますか? **荒巻** 街のピークは30年。30年後は超高齢社会ですよね。

だからベイタウ ンには30年の 計が必要だと思 う。そういうも のがないと、新 しい住民や商店 の人にはこれか らのベイタウン が見えてこな い。今、子ども

たちのことを考えるより先に大 人が楽しみ過ぎていると思う。

樺田 僕は大人が楽しんでいい と思う。子どもには楽しんでい

るお父さんの姿を見せて判断させればいい。元気な大人が 次々と出てくれば街も元気になると思います。

佐藤 オーナーが企業庁で、デベロッパーがいて、デザイン 委員会があって、そのなかに我々が住んでいるという特殊な 街、冷めた目で見ると「実験的な街」なんです。しかし、新 しい街で、パワーのある人間がいて、新しい何かができると 思った。だから、人を巻き込めるきっかけづくりに徹してき たわけだけど、自分だけでやり続けるのは難しい、次々に新 しい人たちが出てくることが大切なんです。

村岡 多摩の長池の人たちのように、居住者の潜在的なまち づくりの意欲が生かせるような仕掛けを作っていかないと持 続しないと思います。

樺田 NPOの仕掛けもいろいろ考えてますが、内容によって は、利益をうまく住民に還元できるシステムもできると思っ ています。

村岡 マンパワーを活用するために、長池ではボランティア をやったらそれを得点にして次に自分たちがやってもらえる というシステムを作っていました。ベイタウンでも参考にな ると思います。

樺田 みんなで知恵を出し合って盛り上げる仕掛けをこれか らも作っていきたい。結果として、自分に跳ね返ってくるも のがあれば、次もやろうという気持ちになれるはず。

村岡 もっと理屈なしに参加した気持ちになれるものを考え たいですね。

昨年6月に、企業庁は「ベイタウン事業の変更にかかわる 説明会」を開きましたが、今後の街づくりに住民の声をどう 【反映させていくのかという課題が残りました。行政に物申す】 ■からには、いきあたりばったりではなく、知識と経験とビ ■ジョンを持った住民パワーの必要性を感じて「街づくり研究 ■ ■会準備会」も誕生し、ベイタウンは5年を経て次のステップ ■をのぼろうとしています。

今回、出席者のお話を聞いただけでも、実に多様な価値観 を持ちこの街で出会い、お互いを尊重しながら自分たちでい い街を創っていこうという、他の街にない「おもしろさ」「新 しさ」を予感させる座談会でした。皆さんはどうお感じに **むったでしょう。**

謹賀新年(編集局:金、佐藤) ▮



★人間関係に色がついた。人が見 えてきた。ただもともと記憶を残

さない主義なので、日々これリ



市民のための文化講座

ガムラン(インドネシア・バリ島、芸能山城組が出演)の 演奏と、講演 "日本と東南アジア"(講師 石井 米雄: 神田外語大学学長)

日 時:2001 年 1 月 23 日(火) 18 時~20 時会場:神田外語大学ミレニアムハウス内ホール(幕張)入場無料(1/16 までに申し込みが必要)

申 込 先 神田外語大学『日本と東南アジア』係 TEL:043-273-1320ファックス:043-273-2984

ベイタウンボランティアサークル発足

心豊かな明るい地域コミュニティを目指して、ベイタウンにボランティアサークルが発足しました。約30名の方が登録しています。福祉、環境、教育に関心のある方、ご連絡ください。

連絡先 会長:小川(211-7736)、福祉:青木(211-7762)、 環境:砂原(211-6341)、教育:辻(211-1419)。

密集市街地での大規模開発

世田谷ティーズヒル(東京都世田谷区)

公団では世田谷区の大学跡地において、密集市街地における新しい形での事業を行っています。

この新しい街は「世田谷ティーズヒル」と名づけられ、公団では初めての集合住宅用地での民間事業者との共同分譲事業、地方公共団体との連携による周辺基盤整備も含めたまちづくり、多くの樹木を残す地域のみどりの保存を目標として開発を進めてきましたが、この春、街はいよいよ地区の第1期入居(街開き)を迎えることとなりました。

写真は、これまで大学キャンパスのシンボルであった樹木「メタセコイヤ」で、当地区のシンボルツリーとして保存してきたものです。



都市公団



賃貸住宅のお問い合わせは 総合募集センター津田沼案内所 TEL:047-478-3711 公団住宅の駐車場のお問い合わせは 日本総合住生活(株)千葉支店

2001年度、新春茶話会

日時:2001年1月21日(日)13:30~16:00

場所:パティオス3番街 集会室

会費:500円/人

ベイタウンの住民なら、どなたでも参加できます。申し込 み方法は別途掲示します。

連絡先: シニアクラブ #8-304 砂原 正行 (TEL:211-6341)

ベイタウンニュースからのお願い

ベイタウンニュースを配ってくださる方を求めています。毎年約500 戸のペースで増え続けるベイタウン。今年は超高層のSea Towerの入居が控えています。ベイタウンニュースの現在の発行部数は約4000部、ベイタウンの全戸に無料で配布しています。しかし、無料配布を続けてゆくには毎月皆さんのお宅にポスティングしてくださるボランティアのサポーターのご協力が不可欠です。現在サポーターは約30人。しかし今年はもっと沢山の方のご協力が必要です。ベイタウンニュースの配布をお手伝いください。配布は毎月第一土曜日の午前中。2月号は2/3(土)、10番街集会室で10:00から配布を行います。

問合せ:ベイタウンニュース松村(TEL:211-6853)

編集後記

■12月末が決算期なもので、除夜の鐘は、例年会社でわびしくカップラーメンを啜りながら聞いています。昨年は2000年問題への対応というおまけまで付く大変な年末でした。だからクリスマスが過ぎるとだんだん憂鬱になってきます。当然昨年末の花火も見られなかったし・・・(新年そうそう何だと言われそうな話題ですが。)いまいち実感が湧きませんが、21世紀をむかえます。明けましておめでとうございます。

企画:#3 - 220 金一剛 (T/F:211 - 0388/ikkim@xa2.so - net.ne.jp)
◆いよいよ 21 世紀! ベイタウンニュースも 2 つの世紀にまたがり、発行し続けることができました。今世紀も、皆さんよろしくお願いします。

編集:名古屋より、板東司(tbando@dp.u-netsurf.ne.jp)

■12月初旬の土曜日、打瀬小学校の「地域交流特別クラブ」で「簡単に作れるクリスマスカード」の講師をしました。「地域交流特別クラブ」とは、地域の大人たちが講師になり、人生経験やパーソナリティにあわせた授業をするものですが、今回は19講座開かれました。次回も3月頃に予定されています。興味のある方は覗いてください。そして、地域の子どもたちのために、ぜひ講師としてご参加ください。子どもは地域で育みましょう。

記者#公園東 浜田貴代子 (atmark@pop01.odn.ne.jp)

■今回、座談会を企画しましたが、普段顔を見知った人たちもお話を聞いてみると実に多彩なバックボーンをもち、「こんなことを考えているんだ」と改めて発見させられた思いがしました。私自身、ベイタウンニュースに関わって3年余、最近は「義務」「マンネリ」に感じられることもあり、最初の「楽しさ」「好奇心」を持続させることの難しさを痛感しています。

タウンスケッチ記者:#3-310 佐藤則子(T&F211-0090)

■10番街の我が家の窓から、新しくできたアクアダクトパーク(別名打瀬一丁目公園)がよく見えます。この公園の特徴はなんと言ってもベイタウンで唯一の水辺のある公園。見ていると子どもたちは、この寒風のなかでも素足で水に入って遊んでいます。水草を抜いたり、置き石を投げて水しぶきをあげたりと大変な騒ぎです。子どもを注意して公共の財産を守ることを教えるのも教育ですが、小さな子どもの圧力さえ受けとめられない街の「自然公園」に子どもを押し込めることが気になります。

技術:#10-612 松村守康 (T&F:211 - 6853/m - matz@mxq.mesh.ne.jp)

2001 年 ベイタウンに届いた年賀状

明けまして、おめでとうございます。

21 世紀の日の出は、20 世紀の夕日からと、つい想いたくなる 街、ベイタウン。

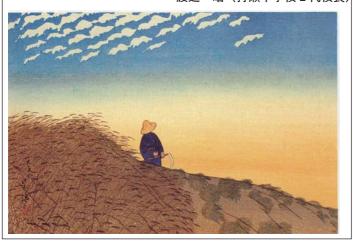
夕日の美しい街です。

すばらしい日の出に出会うのは至難の技。しかし、夕日に出会 うのは至極簡単。ふと手を休めて西の空を眺める習慣さえつけば すばらしい夕日に出会える。

海の向こうに沈む夕日を、ゆっくりと眺めると不思議なことに、新たな活力が生まれてくる。

夕日を、ふと立ち止まって見入るこどもを作りたい。

渡辺 昭(打瀬中学校2代校長)



打瀬小は「21世紀の学校はこうなる」という確信のもとに同名の本を出版してベストセラーになりました。その中の街からのメッセージに武田主税さんが「理想と実験が同居している打瀬小」と書いてくださっています。

さて、いよいよ 21 世紀。その結果が問われる時になりました。

短期間でしたが子どもとして打瀬小で勉強した白井智子さんは、沖縄にインターナショナルスクール(「明日をつかむがっこう」集英社刊)を創りあげました。28歳の校長です。

すが、彼女の理念は子どもたちの夢支援。 原点は打瀬小です。石原慎太郎都知事 がべた褒めですね。 21世紀は、打瀬の街から巣立 つ子どもたちが活躍する時代で す。どのような仕事であれ、 理想に邁進する子どもたち が活躍する素地は創っ

公立校ではできないすごいユニークな学校で

た・・・・と街の皆さ ん、打瀬小・中学校の スタッフと言い切りた いものです。

おめでとうございま

溜 昭代 (打瀬小学校初代校長)





ベイタウンのクリス マスはあったかい

12月。もう5時をすぎると外は暗くなりつつある。とてつもなく大きい夕陽が、富士山のシルエットを写し出しながら海

に沈む。東京湾に無数の光が 見え出すと、空ではオリオン 座が瞬き始めた。月と星が冷 たく鋭そうに光る空の下で、 ベイタウンはイルミネーショ ンが街を飾り、美しい光の世 界へと姿を変える。クリスマ スが近づいてきた。各番街の エントランスや中庭には、黄 色や青など色々な色の電飾や クリスマスツリーが現われ た。ガラスには雪の結晶がた くさん見られる。家のベラン ダや窓には星やサンタ、トナ カイなどのイルミネーション が輝く。何軒もの家が協力し て作っている巨大なツリーな

どの作品には立ち止まって見てしまう。 車もイルミネーションを見ながら走って いたのだろう。私が歩くのと同じぐらい の速さでゆっくり走っていった。打瀬2 丁目公園の近くで電飾をピカピカ光らして歩道を何気なく走る、ジャイネパールの自転車に出会った時には本当にビックリ!あわてんぼうのサンタクロースが来たのかと思った。寒いけど、ちょっと街を見て歩くだけで、とても得をした温か



い気分になれる。土日の夜、澄みきった 冷たい空気の中で白い息を吐きながら、 イルミネーションの調節をしている人々 を見かける。すごく寒そうなのに、なん だかとても楽しそうで私まで嬉しくなっ た。たくさんの家からクリスマスの幸せが伝わってきそうだ。学校からの暗い帰り道も 17 番街のイルミネーションが見えてくると、思わずクリスマスソングを口ずさむ。

私が、12月のベイタウンの光景を目に

するのは今年で2回目だけど、 去年よりパワーアップしている 気がする。1年前、引越しをし てきて初めてのクリスマス。他 の番街のすごいイルミネーショ ンに驚いて、「西の街でもやり たいっ!」と妙な対抗意識を燃 やしていた。大勢の人の協力と 土日返上の努力があって、西の 街にも街路や街路樹に光が燈 り、同時にクリスマスパー ティーが行われたのを覚えてい る。今思うと、街の人と仲良く なれたきっかけは、このクリス マスのおかげだと思う。これか らもまだまだパティオスは増え る。そんな中でも、クリスマス

は、交流を深めるための大切なものであって欲しい。20世紀最後のクリスマスもサンタクロースは、温かい気持ちと、思い出に残る光の世界を届けてくれたようだ。 富川 真希(打瀬中学校二年)

ベイタウンニュース Vol.44 別版

二十一世紀の初春を迎えて

千葉市立打瀬中学校長 石原 通男

明けましておめでとうございます。

二十一世紀の幕開けという歴史的な時を迎え、保護者並びに 地域の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと お慶び申し上げます。

2学期は、残暑厳しい中での体育祭に始まり、2年生の自然教 室、文化祭、スポーツイベント等、たくさんの行事が目白押し でありました。こうした中、生徒諸君の頑張りと保護者並びに 地域の皆様方の絶大なるご支援により、本校教育活動も学習・ スポーツ両面に亘って大きな成果を修めることができました。 一人ひとりの生徒が着実に成長し、大きな自信を身につけるこ とができたものと信じております。

特に、文化祭および AT 講座の開催にあたりましては、パティ オスの会を初め、青少年育成委員会、自治会連合会等、多くの 方々に大変なご理解とご協力をいただきました。そうした地域 の皆様のお力により、本校教育活動が無事に推進できたものと 心より感謝申し上げます。

さて、教育改革の流れの中、学校週5日制の完全実施もいよ いよ1年後に迫ってまいりました。2002年から始まる新学習指 導要領に基づく教育課程の実施に向けて、準備も今年は大詰め を迎えます。

学校は、一人ひとりの生徒にとって明るく、美しく、元気に 生活が送れるところでなくてはなりません。今日、学校には 「ゆとりある生活の中で、21世紀の社会を強く逞しく"生きる 力"」を育むことが強く求められております。このことを常に学 校経営の基本において、今年も教育活動を推進してまいりたい と思っております。

次に、これまでもこの誌面で本校教育活動の一端をお知らせ してまいりましたが、今回は、昨年末に本校が法務省人権擁護 局長から表彰されましたことをご紹介いたします。12月22日 の修行式当日、人権擁護委員および千葉地方法務局職員の合わ せて2名の方が来校され、生徒代表に表彰状が授与されました。

本校では、開校2年目から今日まで5年間、毎年行われる全 国中学校人権作文コンテストに全校生徒が応募してまいりまし た。そして、昨年の11月25日・26日の2日間、幕張メッセに おいて、「考えよう、あなたの人権、わたしの人権」をテーマに 全国人権啓発フェスティバル千葉大会(法務省主催)が開催さ れました。

この大会の2日目に、小・中・高校生18人が人権について話 し合う"子どもわいわいワークショップ"が開かれ、本校から 生徒会およびガールスカウトの代表として3名の生徒が中学生 の部に参加しました。

「いじめ」「人種差別」などさまざまなモン痔あを検討ののち、 代表生徒から1時間に及んだ議論の成果が参会者全員の前で報 告されました。

このたびの法務省からの表彰は、こうした本校のこれまでの取 り組みに対し、これからも人権問題に一層の関心と認識を深めて ほしいとの意味を込めてなされたものと受けとめております。

今日、全国で青少年の関係した様々な問題行動や事件が多発 し、その原因や背景が論議の的となっておりますが、いじめや 差別、不登校生徒の増加といった基本的人権に関する事柄と深 く関わる「心の教育」については、学校、家庭、地域を問わず、 あらゆる教育の場において、最も力を注ぎ指導しなければなら ないことであります。

今後、世の中の情報化はますます進み、高度情報通信社会へ の進展はこれまで以上に急速に進んでいくことが予想されます。 こうした情報化社会への対応を十分踏まえ、本校では「IT を有 効に活用した分かる、楽しい授業づくり」と、成長著しい時期 の人間形成にとって最も重要な課題である「心の教育」の充実 に、一層の力を注いで参りたいと思います。

今年も本校教育に絶大なご理解・ご支援を賜りますようお願 い申しあげ、年頭のご挨拶といたします。



座談会 新生徒会に聞く

新年明けましておめでとうございます。

きょうは、21世紀の幕開けにふさわしく、昨 年11月に引き継いだばかりの打瀬中生徒会の 新しい役員に集まってもらいこれからの生徒会 について話してもらいました。出席者は生徒会 長の池田正剛君、中央役員の富川真希さん、吉 川督生君、松本啓君、片寄雅史君、菅沼克俊君 の六人です。

(司会)21世紀という新しい時代に向けてみな さんの抱負を語ってもらいます。それでは生徒 会長の池田君から

池田「えーっとですね。気持ちとしては学校を 引っ張っていきたい。それと、全校生徒の一人 一人に役割があって満足できる学校。例えば,

行事もただ参加するんじゃなくて、参加して良 かったなと思えるようにやりたいです。」

ただ一人、一年生として頑張っている菅沼君 はどうですか。

菅沼「んっ一。今回一年生一人だけでやりづ らい面もあるけど、・・・・うん、いい先輩た ちがいるからいろいろな事を教えてもらって、 一年生だけど二、三年生を引っ張っていく感じ でいきたいですね。」

松本「単刀直入にいうと生徒中心の意見を取り 入れて、明るい学校を目指して頑張っていきた 101

富川「100年続くような・・・22世紀まで続 いている生徒会の土台を築いていきたい。」

吉川「えっーとですね。会長と同じように校歌 にあるように生徒が自主的にいろいろな意見を

言って盛り上がっていく学校づくりをしたいで す。」

片寄「うーんまー、僕としてはですね、最近で きた学校ですから新しい企画一杯の生徒会にし たいですね。」

(司会)打瀬中学校のいいところはどんなとこ ろですか。

吉川「地域との交流が多いと思います。この学

菅沼「確かにね。文化祭で地域の方が開いた 〈5分でアメリカ旅行〉とか〈シニア体験〉が 楽しかった。地域の人が来てくれると盛り上が るし、楽しくなる。交流の場にもなる」

松本「PRE 総合の発表会や AT 講座もあった。」 片寄「ほかには学校全体で交ざって出きるスポ イベ(スポーツイベント)もよろしいね。」

池田「一年から三年までが一緒にチームをつくるからいい感じなんだ。」

菅沼「一年生として、他の学年とかと交流を深めた方が・・・・・。」

吉川「生活しやすい・・と。」

菅沼「そう、無関係より、スポイベとかで関係があったほうが話しやすくなるし・・。」

富川「そんなイベントはいつまでも続けていきたいですね。そしてもっと楽しくして・・。」

(司会)新しい企画について話してもらえませんか。

池田「今はまだ企業秘密です。期待して楽しみに待っていてください。」吉川「これで何もやらなかったら、シャレにならないけどね。」(笑)

松本「とにかく期待していてください。」

(司会) きょうはどうもありがとうございました。新しい時代を迎え、生徒会の更なる発展をお祈りしています。みなさんの活躍を期待しております。それではきょうの証拠写真を1枚撮らせて頂きます。ハイ、ポーズ。



スポイベ

12月2日(土曜日)に本校の伝統行事のひとつとなったスポーツイベントが開催されました。このスポーツイベントは男女別に1年生から3年生までの生徒が一緒になって混合チームを組織し、放課後等を利用して練習やチームワークづくりをすすめ、競い合うスポーツ大会です。(競技種目は男子はサッカー、女子はバレーボール)生徒から次のような感想を聞くことができました。

- ・3年間スポイベをやったおかげでバレーが好きになれた。自分たちが3年になってはじめて去年やおととしの先輩たちの苦労がわかった。〈3年女子〉
- ・みんな協力して、いいプレイをすればみんなで誉め、ミスをすればみんなで激励するという素晴らしいイベントだった。〈2年男子〉
- ・クラスが増えて、今年はもうやらないのかナアと思っていたけれど、やれて良かった。体育祭に続き $1 \sim 3$ 年生が一緒になる連帯感がたまらなく楽しくていい。練習は大変で腕が青くなったけど、それ以上のものが得られたと思う。このイベントはとても大切だと思うので、来年もよろしくお願いします。 $\langle 2$ 年女子 \rangle
- ・バレーボール大会で 39 対 38 の 1 点差で負けちゃって悔しかったです。 しかもそれが決勝戦だったのですごく悲しかったです!! 来年は今回の チームの人が他の人と組むので、どうなるかわかりませんが、先輩たち の「声を出して!」や「ナイス!」や「ドンマイ」の慰めてくれたりし たことが嬉しかったです!来年も頑張りたいです。 $\langle 1$ 年女子 \rangle ~各学年便りから~

@SPACE

第8回 「さわやかハートちば」絵本感想文・作文・詩コンクール 富川真希さん(2A) 作文の部:最優秀賞(千葉県知事賞)受賞 作文タイトル 新しい街にコミュニケーションが生まれる

内容:全く知らない人同士が住んでいるマンションに一人の呼びかけで、 だんだん交流が深まっていく様子を書きました。

感想:この作文の出だしは"『西』の街は『酒』の街だ!"で始まっていくので、まさか賞がとれるとは思いませんでした。でも、すっごく嬉



しいです。

~ 2 学年 学年通信 No.44 から~

テニス部

千葉市少年少女学年別選手権 (1年生の部)

青葉の森スポーツプラザ 12月3日(日曜日)

男子: 法月,伊丹組・・・優 勝

早野、小畠組・・・準優勝

女子: 三木さ、三木あ組・・・・準優勝

山崎, 蜂屋組・・・・ベスト8

* 4 チームとも 1 月 27 日 (土) に行なわれる冬季選抜大会への出場権獲得!

男子決勝は打瀬中同士という見事な結果となりました。女子も好成績を収めることができました。人数が5人と少ない中で日頃から一生懸命練習に励んできた賜物です。当日は2年生も応援のため会場へ同行し全員一丸となって、よい雰囲気の中で試合することができました。この結果に甘んじることなく、さらに向上を目指してしていって欲しいと思います。

陸上部

12月3日ニューリバーロードレース in 八千代 12月8日 (日曜日)

中学男子の部(5km) 1位 佐藤 遼太

2位 東堂 裕毅 3位 武 洋一郎

中学女子の部 (5km) 4 位 渡辺菜津子

ちなみに一般女子(39歳以下)の部(10km)

6位 渡辺 冬花 ハハハッ・・・

《オーッ! おめでとう パチパチパチ 編集部》

5km 全員が完走!! すばらしいですよね。走った後の豚汁は最高でしたね。

佐藤君優勝おめでとう。

